

遺族会との協議内容は

遺族会の意向を尊重し継続



矢野 昭三 議員

問 町と町内に3団体ある遺族会との協議内容と、点在する顕彰石碑の対応について。

また、既設の顕彰石碑等を遺跡・平和公園として位置づけることについて、遺族会との協議内容の進捗よく状況を聞く。

答 松本町長

遺族会の存続、記念碑の建立、戦争遺産の維持管理について継続して協議している。

戦争遺産の管理は遺族会で管理し、町は新たに年2回の除草の予算を確保し実施している。県の補助事業により整備を検討する。

顕彰石碑等の位置づけについては、遺族会の意向を確認しながら今後も遺族会と時間をかけて協議する。



津野町新田の顕彰石碑

防災対策

高台造成  
今回は佐賀の番  
事前復興計画  
を推進

問

「今度は、佐賀の番じゃないでしょうか。佐賀でも高台造成を」との要望が佐賀地域の区長12人から提出されているが、地震・津波の襲来には時間との戦いがあり、東公園にある多目的広場をかさ上げし避難場所等に

答 松本町長

具体的には、若者を中心とした復興デザイン協議会と産業振興協議会の設置の提案があり、仮称復興デザイン協議会の設置については、来年度以降に進めていきたい。公園計画の見直しにつ



伊与木川の氾濫で孤立状態となった藤縄地区 (令和3年9月17日)

てはどうか。  
佐賀北部地域の裏山崩壊対策工事の進捗よく状況を問う。

いて11月に意見公募の作業を進めている。様々な可能性を探り公園用地を活用することも選択肢の一つである。

津波浸水区域外への事業所移転希望の声もあることから、県と協議しながら検討したい。

佐賀北部地域の裏山崩壊対策工事については、7月16日付けで幡多土木事務所長へ要望書を提出した。

産業振興

新農業と  
水産業は  
振興に努力

問

タバコ、キュウリ、花など集約経営に取り組み活気があったが、新たに希望の持てる農業育成に取り組むか。

また、どのようにして魚の水揚げを上げるか。更に補償的な対策として現行の予算とは別に投石、魚礁等に投資するか。

答 松本町長

農業は、新品目挑戦支援事業等で意欲ある農家の育成を図る。

また、漁業は活餌供給機能強化と入港船誘致を推進し、併せて既存の施策の推進振興を図る。更に補償的投石等は補助事業化への挑戦も含めて事業を進める。

【その他の質問】  
・環境問題について